

医学部・医学科カリキュラム・アセスメント・チェックリスト

2011年3月25日改訂 Ver.2

医学部・医学科のDP	
DP1(知識・理解)	1-1) 医師としての専門分野の学問内容の知識を修得している。 1-2) 自然科学にとどまらない医療人としての幅広い教養を身につけている。
DP2(思考・判断)	2-1) 分子レベルから集団レベルまでの生命現象を説明する適切な方法を指摘し、明らかとなった現象を簡潔に表現して第三者に伝えることができる。 2-2) 患者と家族の身体的・心理的・社会的な健康状態および疾病の状態を把握し、情報を総合することによる適確な判断に基づいて、必要な行動を示すことができる。
DP3(関心・意欲)	3-1) 社会の医療ニーズの変化に対応して、適切な方法で最新の医学知識や医療情報を収集・整理し、生涯を通して自らを高めることができる。
DP4(態度)	4-1) 都市部から辺地までを包含する地域において、患者中心の医療の担い手となる医師として責任をもった行動をとることができる。 4-2) 医学の進歩のために基礎・社会医学と臨床医学との両面での研究が不可欠であることを認識し、自らも研究マインドをもって医療を行うことができる。
DP5(技能・表現)	5-1) 基礎的な医療行為を患者にも自らにも安全に実施することができる。 5-2) 患者・家族や保健・医療・福祉チームのメンバーと良好なコミュニケーション(簡単な英語によるものを含む)をとり、チームの一員としての役割を果たすことができる。

番号	名称	実施時期	実施頻度	対象	質問項目(対応DP含む)	手法	評価者	実施責任者	結果の活用方法
1	医師国家試験	2月 (発表は3月)	毎年	卒業予定者	国家試験の合格率 DPの1-1)1-2)2-1)2-2)	客観試験	教務委員会、総合医学教育センター	厚生労働省	合格率により医学科カリキュラムの総合的なアセスメント指標とする。評価分析結果を次の6回生の指導に資する。
2	医科共用試験	2月 (追試は3月)	毎年	4回生	CBTとOSCEの領域別得点の学年平均および共用試験の合格率 DPの1-1)1-2)2-1)2-2)および4-1)5-1)	客観試験(CBT)および実技試験(OSCE)	教務委員会、総合医学教育センター	医療系共用試験実施評価機構	領域別の得点の平均を全国レベルと比較し、医学科カリキュラムにおける領域ごとのアセスメント指標とする。
3	留年/仮進級の学生数と理由	3月	毎年	全学年対象	DPの3-1)	成績判定資料	教務委員会、学生生活委員会、総合医学教育センター	教務委員会、学生生活委員会、総合医学教育センター	留年生については、学生生活委員会を中心にして留年を繰り返さないように指導する。仮進級学生については不足単位の履修計画についてグループ指導する。
4	卒業予定者アンケート	1～3月	毎年	6回生	カリキュラム満足度 学生支援満足度 施設・設備の満足度 初期研修医マッチング率 DPの全ての項目	質問紙	学生	全学および総合医学教育センター	総合医学教育センターが結果を教務委員会および学生生活委員会に報告する。結果を翌年度以降のカリキュラム編成および学生指導体制の改善に利用する。マッチング率は卒業生の卒前教育に対する総合評価を間接的に反映していると考えられる。
5	学生によるカリキュラム評価	次年度の4月	毎年	1回生～4回生 (実際の調査は次年度に実施)	各科目の理解度/到達度 カリキュラムの良い点と改善提案 DPのうち科目に対応した項目	質問紙	学生	総合医学教育センター	総合医学教育センター長が結果を教務委員会に報告し、次年度以降のカリキュラム編成に資する。
6	医科学研究発表会および社会医学実習発表会	9月～11月	毎年	4回生(および医科学研究発表会に参加した他学年の学生)	☆社会医学実習発表会の評価 ☆医科学研究発表会で発表(証明書交付)した学生の数と学年構成(現行カリキュラムは平成25年度まで) DPの3-1)4-2)	チェックリスト他総合評価 学部長表彰 主任教授表彰	教務委員会、社会医学実習担当教員、総合医学教育センター	総合医学教育センター	公衆衛生学分野教員の協力の下に総合医学教育センターが結果を取りまとめ、教務委員会に報告する。医科学研究発表会にあわせて、教務委員会と教務課で学生による論文数/学会発表数を調査報告する。
7	学生および卒業生を受け入れている病院対象のアンケート	8月	隔年	6回生の実習先病院および県内の研修指定病院	学生の実習状況や成績評価(技能や態度面を含む) DPの1-1)2-2)3-1)4-1)5-1)5-2)	質問紙	附属病院および研修指定病院の臨床研修指導責任者	総合臨床研修センター	総合臨床研修センター長が結果を教務委員会に報告し、次年度以降の実習カリキュラム編成に資する。